



平成26年度普仙寺華頂婦人会役員の皆さん平成26年4月8日、月並法要後撮影

娑婆しゃばと極楽ごらく

この世のことを「娑婆」と言うことがあります。インドの言葉「サハー」の音訳語です。本来「忍耐」を意味します。

娑婆世界は忍耐の世界であるから「忍土にんど」、汚れているから「穢土えど」と表現されます。

極楽はインドの言葉「スカーヴァティー」の意識語で、「楽のあるところ」を言います。

極楽世界は清らかな世界でもあるから「極楽浄土」とも言われます。

私達は、「穢土」であり「忍土」であるこの娑婆世界を見つめ、「浄土」である極楽世界に思いを込めて行きましょう。

華頂婦人会総連盟研修会

去る4月6・7日、知恩院で開催されました、華頂婦人会総連盟研修会に、普仙寺から10名の方が、参加して頂きました。ありがとうございました。



平成26年4月6・7日総本山知恩院にて華頂婦人会総連盟研修総会に参加された白井勝子さん、杉本恵子さん、岡田里見さん、谷山美智代さん、杉浦美智子さん岡田命恵さん、岡田さとえさん、岡田チエコさん、杉浦恵子さん、柴田佳恵さん

住職の短歌

平成24年に詠んだ短歌の続き([前回](#)は平成26年4月号)を掲載します。

秋晴れの佳き日晋山弘誓院僧俗集ひ念仏の声

弘誓院五重相伝足揃へ音吐朗々教授師の声

先代の内室今宵百箇日思ひ出偈び阿弥陀経読む

弘誓院五重相伝初日終へ山主挨拶ただただ感謝

第二日朝の勸誡祖師の伝浄土開宗ほとけの願ひ

相伝会第三日の午前には五種正行と三心のこと

三日目の午後は良忠上人の一代を聞く子弟邂逅

岐阜県の柿野温泉お湯熱し若き僧等の休息の時
峠道土地改良の石碑あり長方形の刈田眺むる
第四日煩惱のこと説く誠師愛する故の悪口もあり
勧誡師二河白道の御和讃を歌詞を配りて皆と唱へる
成満の夜の祝宴住職はひとりひとりと破顔談笑
常緑の木々の緑のあるを見て紅葉の色の赤に驚く
松の木と太き銀杏の囲ひあり昔兵舎のあとの高校

嘉禄の法難、知恩院参拝と選択集拝読

嘉禄の法難の発端である嘉禄3年(1227)6月22日、法然上人の霊廟が襲撃されたことに因み、法然上人の著書『選択本願念仏集』を拝読します。

期日

平成26年6月22日(日)

集合場所

豊橋駅新幹線改札前

集合時間

午後7時30分

日程

午前8時06分	新幹線こだま号乗車
午前10時	知恩院法然上人御堂参拝
午前11時	知恩院勢至堂参拝
正午	昼食
午後1時	知恩院御廟拜殿にて『選択本願念仏集』拝読
午後3時30分	解散

参加申込

所定の申込用紙に必要事項を記入して普仙寺へお申し込みください。

締切

6月15日までに

交通費

当日、個人で負担して下さい。

参加費

無料

服装

袈裟・数珠

高齢者招待祝賀会

さる4月18日、知恩院の高齢者招待祝賀会があり大木博之さん、小柳津 正司さん、杉浦 きく子さんの3名が参加され、住職 加藤 良光が御忌法要に出勤しました。



平成 26 年 4 月 18 日総本山知恩院にて高齢者招待祝賀会に参加された大木博之さん、小柳津正司さん、杉浦きく子さん

寺行事案内

土曜礼拝どようらいはい

毎週土曜日午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

5月10日からは

- 前編第28章 来迎引接
- 前編第29章 対治慢心
- 前編第30章 一期勤化
- 前編第31章 勧進行者

月並法要つきなみほうよう

平成26年6月8日(日)午後7時より

月に一度、檀信徒の皆様でお参りする法要です。どなたでもお参り下さい。
法要中、年回忌の祥月にあたる方のご回向もいたします。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 一枚起請文拝読
3. 詠唱奉納
4. 住職の法話